

自己学習能力の育成

－開倫塾の社会的使命(mission ミッション)とは－

開倫塾
塾 長 林明夫

1. はじめに

(1) 講話の目的

皆様がこれからお勤めになる開倫塾は、何のために存在するかを理解して頂くこと。今日からの指導の中でどんどん生かしてもらおうこと。

(2) 講話の流れ

- ①塾長の話
- ②論文執筆

- (ア)入社後3年以内に開倫塾でしたいこと
- (イ)入社後5年以内に開倫塾でしたいこと
- (ウ)開倫塾に期待すること、塾長に期待すること
- (エ)この合宿研修で身についたと思われること

(3) 受講の態度

- ①メモを取り続けること

＊研修会の資料は、自室の一定の場所にファイルして保存。たえず読み返すこと。すみからすみまで一日も早く身につけること。メモも同様。取り続けたメモを完全に身につけることで、仕事のスキルが身につく。

- ②わからないことは質問すること

2. 開倫塾の社会的使命(mission ミッション)とは

(1) 開倫塾の教育目標・経営理念

- ①高い倫理

＊高い志を持ち、自分の夢や目標のために「自律的に行動する能力」を育成すること。

- ②高い学力

＊知識・情報・技術を「相互作用的に用いる能力」を育成すること。

- ③高い国際理解

＊「異質な集団で交流できる能力」を育成すること。

- ④自己学習能力の育成－学力は読書量に正比例する－

＊学び方を学ぶ(Learning To Learn)能力を身につけること。

(ア)読書(質のよい読書)を積み重ねる。新聞を毎日読み考える。

(イ)音読練習、書き取り練習、計算(問題)練習を何十回、何百回も行い、一度理解したことを完全に身につける能力(スキル)

(2)開倫塾の社会的使命(mission ミッション)

「成功の実現に貢献する」こと

*顧客(塾生・保護者)、地域社会、ビジネスパートナー、社員の「成功の実現に貢献する」こと

「教育成果を決定する要因は、本人の自覚と教師の力量」

(3)開倫塾の行動目標

①「塾生数、北関東一」ー塾生・保護者の問題解決に徹しようー

②「教え方日本一」ー授業毎にLESSンプランを書き続けることで、授業の力量が向上。LESSンプランは教師の成長の記録ー

(4)開倫塾の経営方針

①「学ぶに値する塾づくり」:「地域一番塾」を目指す

(ア)学校成績向上 } *「練習、練習、また練習」で一人の落ちこぼれもつukらないこと
(イ)希望校合格 }

*「一流校」とは「塾生の入学したい学校」

②「働くに値する塾づくり」:「雇用の安定」を目指す

(ア)深夜 11 時以降の勤務絶対禁止

(イ)禁止事項

(a)セクシズム(性別による差別)

(b)エイジズム(年齢による差別)

(c)レイシズム(出生による差別)

(ウ)Decent Work(ディーセント・ワーク きちんとした仕事)を目指す

③倒産しない会社づくり:「いぶし銀経営」を目指す

(ア)自己資本比率を高める

(イ)無謀な出店はしない

(ウ)堅実経営で、「中堅企業」を目指す

(5)教育経営品質への取り組みー卓越した業績(Performance Excellence)を目指す

(ア)顧客本位

(イ)独自能力 「学習の3段階理論」(①理解 ②定着 ③応用)

(ウ)社員重視 Empowerment(「能力強化」の上で「権限委譲」)

employability(雇われる能力)(A₀→B₁→C₁へ)

(エ)社会との調和(①コンプライアンス ②社会貢献活動の推進)

3. おわりにー一生勉強、一生青春(相田みつを)、いつまでも若々しく生きようー

(ア)ブルドック魂:食いついたら離すな(岡田忠治先生)

(イ)一所懸命:一つの所で命を懸けるくらい熱心に励もう

(ウ)健康第一:心の健康・身体(自分の健康、家族の健康、塾生の健康、同僚の健康)